

# ひめまつ

29



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 第二十九号 目次

表紙……佐伯留守夫 題字……石川木魚 扉……栖原賢樹 写真……伊東礼一

〔巻頭言〕五十年、区切れのよいところで……理事長 須賀 友正 1

教育方針 個性・能力・特性を伸ばす教育……校長 須賀 淳 2

自覚、それは発展への近道(新生徒会長としての抱負)……松田和也也 5

一日一日を有意義に(二年の活動をかえりみて)……小野 進 6

▽英語を国際語に高めよう(ユネスコ弁論大会要旨)……秋山恵美子 8

▽大東文化大学全国高校生論文「折りはプレゼント」優秀賞……新嘉喜ちさ子 9

旺文社全国学芸コンクール佳作「華岡清洲の妻」を続いで……小林 孝子 11

独自の味を創る、世界一の板前に(異技能尊重作文)……深沢 徹 12

詩 ……尾花静枝・江連千栄子・佐藤美恵子・伊東雅子・片岡富士子

「前校長慰労パーティー」……

報告「インターハイ、国体に出場して」……古山 秀子 26

沖縄の研修旅行に参加して(インターアクトクラブ)……柏崎・石原外 25

特集 学園ニユース・トピックス 学校祭・弁論部活躍・生徒会総会、会長、副会長選挙・体操部の成果……31

◇各地学友会の活動 ソフト部の活躍・作文で大東文化大学賞・校内合唱コンクール外 ……41

〔俳句〕 二六〇句 47

〔短歌〕 六四首 86

校内読書感想文コンクール入賞作品 貧しき人々……根本文江 菊池 倫子 52

人間失格……………中里 敦子

車輪の下……………渡辺明美

アンネの日記……………福島朱美

ひめゆりの塔……………宇塚 美枝子

小さな者へ……………有島 武郎

友情……………新嘉喜 ちさ子

風立ちぬ……………

この学校を選んでよかった(作文)……………藤 沼 信子 64

「ベルリンの壁」(ヨーロッパを視察して)……………太田 茂雄 77

随筆コーナー……………79

雨月物語……………斎藤 順二

混乱期に生きる……………稲葉 実

郷土地名考……………根本 秀勝

母あつての私……………芳賀 美地子

親子の人間性について……………下条 幸子

老人の生活は国が見よう……………無木 敏子

◇県人権擁護作文コンクール優秀賞……………84

特集 わしらのグラス・どんなもんじや……………89

修学旅行・遠足・キャンプ……………99

高野山・金比羅・小豆島……………湯沢 道子

長谷寺が印象的……………新嘉喜 ちさ子

裏磐梯の四日間……………宇賀神 光子

特集 「共通の広場で語ろう」……………久米田真理子・五月女啓子・鈴木清美・相田喜江子……………105

秋山恵美子・豊田かよ・渡辺真理子・佐藤 仁・安部牧子・宇梶敏江・岩井治夫

家政科技術検定について……………113

昭和四十九年度就職決定状況……………114

昭和四十九年度学校行事……………118

職員住所録……………119

昭和四十九年度生徒会役員一覧……………117

生徒会・生徒評議会・クラブ部長

▽編集後記……………奥付△



校長引退のあいさつをする前校長



長い間ごろうさまでした!! 同窓会から花束を受ける友正先生(栃木荘にて)



勢ぞろい/50年度の  
の生徒会新役員



さあ、はり切って奉仕  
に研究に/インターア  
クトクラブの発会式  
(講堂にて)



校 歌

Musical score for the school song. The lyrics are written below the notes in hiragana.

あ わ れ 芽 出 度  
か た み に 祝 い て  
変 ら ぬ 操 は  
庭 面 に 茂 れ る  
二  
あ わ れ 尊  
教 え の 庭 こ そ  
か た み に 誓 い て  
学 び の 道 筋  
二 荒 の 高 嶺 を  
ま さ き く あ れ と  
い そ し み 励 む  
げ に 尊 け れ  
こ の 学 び や  
こ の 学 び や  
げ に 芽 出 度 け れ  
い そ し み 励 む  
千 代 万 代 と  
姫 松 小 松

宇都宮短期大学附属高等学校校歌



青春の夢を胸いっぱいにくらませて華やかな演技

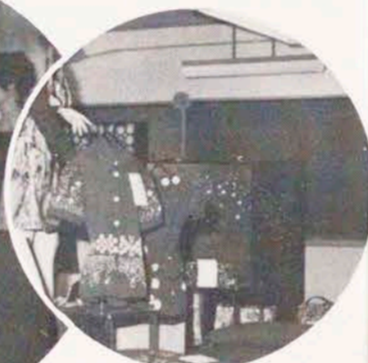
“74”学校祭

アルバム

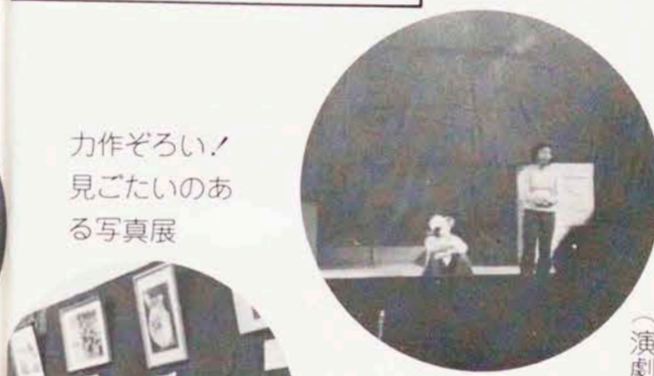
をくり展げる、パトントワーズとプラスバンド



お名刺などどうぞ  
…和文タイプ部



右・目も覚めるあざやかさ  
—手芸部です  
左・婚礼衣装もお手のもの  
—こちら洋裁部



「黄色い日曜日」の舞台  
(演劇部)



さすがに立派です！  
…和裁陣列室…



うまく炊けるかな…  
—磐梯キャンプ場にて



楽しいひととき  
—ふれあい広場で



デパートの売場では？  
…洋裁部の作品です…



力作ぞろい！  
見ごたいのある写真展



「ごちそうのいろいろ」  
調理科の実演風景



好評！ひめまつ寿司・いなせな調理科生

巻 頭 言



五十年、区切れのよいところで

理事長 須賀友正

去る五月から、私は本校の校長としての職を副校長の須賀淳にゆずり、引退いたしました。その後は皆さんご存知のとおり、本学園理事長として、また宇都宮短大校長としての職務に当たり、元気に勤務しております。

「ひめまつ」巻頭言も、創刊号から二十八号に至るまで、毎号欠かさず書きつけてきたが、いよいよ本号をもって終わりとし、次号からは新校長の登場となるので、いささか所懐を述べてあいさつしたい。

私の本県における教員生活は丁度五十年になる。当初は宇都宮工業高校の創業に参加し、そのまま奉職すること十年。のち母栄子の死去のあとを享けて本校々長として四十年。文字通り半世紀、五十年を教職に捧げてきた。

もうひとつ、妻華子との結婚生活も五十年で金婚式。思えば遠くも来つものかなの感無きにもあらず、お互いに健康で、形影相伴って今日に至ったことは、まことに有難いことと感謝いたしている次第。

それに、時あたかも昭和は五十年。本校創立以来数え年では七十五年と、すべてにわたって区切れがよい。そこで五月を下して、三代目淳校長にバトンを渡したというわけ。

したがって、四十九年度卒業生が、私の引退の年の卒業生、五十年度一年生として入ってくる皆さんが新校長が引受けて、はじめから教育に当たる生徒たち、とこうなるわけです。

喜びも、悲しみも、ということばがあるが、その言やよし。喜びを、と先ず顧みれば、本校創立五十周年、六十周年につづいて七十周年の記念式典を、自分の手で挙げることであったことである。しかも、それぞれの区切り毎に学園は飛躍的發展を遂げ、卒業生は二万名を超え、在校生も史上最高の数に達し、いずれも高度の社会的評価を

から得ている。では、悲しみは、といえば初代校長母栄子との永訣、つづいて第二次世界大戦による旧校舎の全焼をあげねばならない。しかしその悲しみを踏み越えて今日の繁栄を得ることができたのは、偏見に關係各位のご協力の賜に外ならないと感銘いたしております。

どうぞ、新校長のもと、皆さんは私の時代以上にがんばって好き先輩となるよう励んでください。



これから試食会……  
お母さんは見学デス  
(調理科実習風景)

全日校高校ソフトボール大会  
入場式……行進する本校選手  
……北九州市にて……



一発をねらって！  
猛烈なスイング！



もうハトハトです……全校  
生徒のスケート教室（日光  
所野スケート場にて）



若人の胸に永遠に！  
……裏磐梯岬キャンプ場にて



### Ⅲ 教育方針 Ⅲ

## 個性・能力・特性を伸ばす教育

——八十年來変わらぬ人間形成を——

校長 須賀 淳



政治・経済（3年）授業中の校長

ています。

附属高校は、普通科、家政科、商業科に加えて、全国でも数少ない音楽科、調理科と、五つの科をもつ総合高校となっていますが、これは高等学校への進学率



が全国平均で九〇%をこえた今日、高校生の適性や能力は多様であり、一方、高校卒業者に対する社会の要請も多様となっていますから、高等学校においては、一人一人の生徒の能力、適性、進路に応じた適切な教育を行なう必要があるという教育の目標にこたえるものです。そして本校では、さらにこれらの各科をいくつもの専門類型、専攻コースに分けて、生徒の適性、希望に応じ、より深く専門的な教育が受けられるようにしています。しかも総合高校の利点を生かして、各科とも、他の科の専門の先生や特別教室を活用して、はば広い多彩な教育が展開されています。したがって、生徒の卒業後の進路も進学、就職と多様です。

このように、生徒の個性、能力、特性を伸ばすという教育の基本方針のもとに、本校では先生方が個々の生徒の能力、適性の把握につとめ、一人一人の生徒を大切に、親切にキメこまかな指導を行なっています。施設、設備は近代化され、教育内容も時代の進展にそった新しいものになっていますが、それにもまして大切なことは、「教育は人なり」といわれるように、先生と生徒のあたたかい人間関係です。本校では、先生と生徒の人間関係を密にし、心と心のふれ合いによってほんとうの人間教育を行なおうとしています。本校はしつけのきびしい学校といわれています。「礼法を正す」ということを柱に、だから愛され、信頼される人間を育てることを目標に、きびしさのなかにもあたたかみのある教育を行なっています。

以上のような本校の教育の基本方針は、創立以来一貫して受け継がれてきており、またこんごとも変わることはない大方針です。この教育の基本方針の具体的な一つのあらわれとして、本校では、全職員によって、「一運動」というもの



が展開されています。生徒は登下校の際に、「先生お早ようございます」、「さようなら」とあいさつをし、また廊下などでは会釈目礼をしてくれます。しかし生徒からあいさつをされる前に、先生の方から生徒に一声をかけようという運動です。「お早よう」、「さようなら」あるいは「少し顔色が悪いが、どうしたの」とか、とにかく一声かければ、生徒はたいへんうれしそうにニコリこたえてくれます。さらに先生は生徒一人一人の顔と名前が一致するように努力しています。これはなかなかたいへんなことです。私は高校三年生の政治・経済と短大一、二年生の教育の講義を担当していますが、授業に出ているクラスはよいのですが、全校生徒となると顔と名前を一致させることは容易ではありません。しかし、生徒に名前をよんで一声かけ、ことばを交しあう楽しさはまた格別のものがあります。本校はひとすじに、人づくり—人間教育に専念してきました。そして過去八十年間、二万余人の有為な卒業生を社会に送り出し、卒業生の一人一人が本校生徒の生活目標である「一人は一人を代表する」のモットーを体して、家庭に、社会に、学園に、はば広く活躍してくれています。戦前、戦後を通じて、とくに教育思想の大混乱をきたした終戦直後もふくめて、終始変わることなく人間形成、全人教育という基本方針がたゆみなくつらぬかれてきたことに私は大きな誇りを感じています。

校長略歴—昭和二十四年東大卒、文部省に勤務、文部大臣秘書官、文部省文化財課長、教科書課長、初等教育課長などを歴任、昭和四十二年七月本校副校長に就任、生徒の指導に当たる。  
現在、本校校長、宇都宮短期大学副学長、文部省産業教育審議会委員、栃木県私立学校審議会委員等。

## 自覚、それは発展への近道



新生徒会長としての抱負

二年 松田和也

こんど、皆様の暖かい御支援により、男子二代目生徒会長という重要なポストに着かせて頂くことになりました。そこで皆様の御支援に対し感謝の意を述べると共に、御期待にそうよう、一生懸命生徒会員の皆様と共に、これからの一年間を、より充実した生徒会作りへと、力強く歩んでいきたいと思ひ、一言述べさせていただきます。

前年度会長小野さんが、「生徒会を我々の手で」という目標を打ちだし、就任して以来一年間、本校の生徒会は、大変活発になりましたが、まだまだ改めていくべき余地があると思ひます。それはまず、生徒会員皆さん一人一人の自覚と行動が足りないということです。

私は「実行」それが、一番大切だと思ひます。我々生徒会員自身もつと生徒会活動に関心をもつて、何事にも取り組んでいければ、もつと活発な生徒会が成り立つのではないかと思ひます。また特に生徒会に所属しているはずの各種委員会がバラバラで、先生と役員まかせのものになっていないかと思ひます。このままでは、よりよい生徒会活動はできないはずだと思ひます。「委員会は委員だけにやらせておけ」というのではなく、我々自身の手で不満があったらなんと、とどんどん意見を主張し下から、つまり一般生徒からだんだん上へもちあげていくという組織そのものを、もつと活かしていくことが大事だと思ひます。またそんな生徒会にしていきたい。生徒会に新しい風を吹き起こそうではありませんか!!

まだ頭の中は、生徒会長という重大な任務への不安でいっぱいですが、先に述べたことを実行してよりよい生徒会作りを、精一杯努力するつもりです。皆さんこれからも、どうぞよろしく御支援と御協力をお願いいたします。

## 四十年、ご苦労さまでした 盛大だった前校長慰労パーティー

須賀友正先生は、本校々長として四十年にわたりご精励になり、学園発展のため、延いては本県教育界の向上のため、心魂を傾けて来られました。去る五月から、職を副校長の淳先生にお譲りになり、引退されました。



ご苦労さま、本校在職卒業生に囲まれて

今後は須賀学園の理事長として、かつ宇都宮短期大学々長としての職務に専念され、本校のよりよき未来の創造に、益々その手腕を発揮されること期待您的です。

### 主催者あいさつ

PTA会長 高山源吉

本県教育界の重鎮として、半世紀にわたりご活躍なされた須賀友正先生には、このたび功成り名果けて宇都宮短大附属高等学校長の職を長男淳先生にお譲りになり退任されました。日頃先生を慈父のごとお慕い申し上げ、先生からもっとも親しくお導きいただいております。PTAと同窓会とが相はかつて、この機会に、長い間のご苦労に対していささかなりともご慰労申し上げたいと、本日この会を催しましたところ、時節柄何かとお忙しい中を、多数の方々のご出席を御喜び、このような心温まる記念パーティーを開催することができましたこと、ほんとうに有難うございます。

主催者側を代表いたしまして、厚くお礼を申し上げます。前校長先生のりっぱなご人格、ならびにすぐれた識見のかずかずに、今更私たちの申し述べるまでもなく、去る三十九年には国より藍綬褒賞を、また四十六年秋には勲三等瑞宝賞の叙勲に浴するなどの光栄ある一事が明かに物語っているとおりであります。

すなわち、創立者須賀栄子先生のとを承けて二代目校長に就任されてから四十年。その間、昭和二十年七月戦災を受け、校舎は全焼、廃墟の中から立ち上がって、高等学校を家政科、普通科、商業科、調理科、音楽科の五科を有し二千六百名の生徒を擁する総合高等学校に発展させたご手腕、加うるに、四十一年には宇都宮短期大学を創立して音楽教育の分野を拡大させる等、学園経営を通じて尽くされた教育界への多大なる貢献をたたえねばなりません。

さらに先生は、県私立学校審議会委員、県公安委員長、産業教育審議会委員等をはじめ多くの要職につかれ、県政の進展のためにも活躍して来られたのであります。

創立七十周年、発展の一途をたどる本校の卒業生もすでに二万名に達しております。皆それぞれ所を得て、名実ともに高い社会的声価を勝ち得ております。これもひとえに、一日として休むところなく一生を人間教育にささげ尽くされた先生のご信念と限りない人間愛にもとづくご努力の賜に外なりません。

長い間のご精励、まことに、まことに「ご苦労さまでした。また陰の力として、奥さま華子先生の公私にわたるお心づかいのかずかすにつきました。私たち一同深く思いを致しておる次第でございます。

先生には、附属高等学校長ご退任後も、須賀学園理事長、宇都宮短期大学々長として、これまで通り、新校長淳先生ともども、毎日万般のお仕事を元氣いっぱい続けておられますので、私共と致しましては、子弟の教育のことは全く安心して万事お願いできますことを心から喜んでおる次第でございます。

先生は、創立七十周年記念「ひめまつ」特集の巻頭言「人間教育七十年」の中で、「老人は過去を語り、青年は未来を語る。」というこゝとばがある。私はまだこの「老人」と呼ばれる人の仲間入りはしたくないと思っている。私が過去を語るのには、よりよい未来をきずくために必要な知恵としての経験を語るのであり、新しい世界の創造のために、いささかなりとも寄与したいという願いにもとづくものに外ならない。」と言われておりますが、どうか今後この旺盛な意気込みをもつて、末長くご活躍くださいますよう、衷心から祈念してやみません。

本日は気心の知れた、ごくうちわの方たちの集りでございますので、皆さまそれぞれ積もるお話もおありのことと存じます。どうか時間の許す限り、ゆつくりとご歓談くださいますようお願いして私のあいさつと致します。

昭和四十九年七月十三日

宇都宮短期大学附属高等学校

PTA・同窓会代表

高山源吉

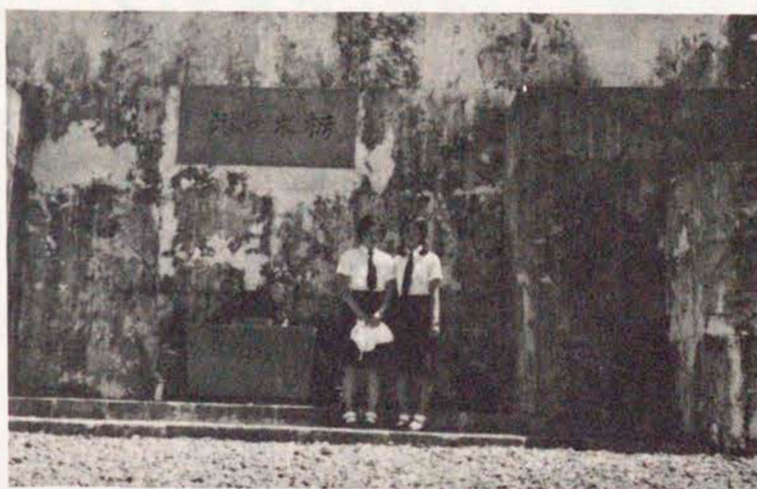


うに頑張っていたかと思つています。こうして四時頃名城ビーチを立ち、料亭で琉球料理、琉球舞踊による夕食会に招かれました。ここで見ることで琉球舞踊は、沖縄独特の感じと、南国らしい風土性が感じられました。また、舞踊で使われていた「じやみせん」などは、私たちに、特に珍しく思われました。また手の動きには言葉に出すことのできないほどすばらしい表現がありました。

八月九日。九時から十二時まで自由時間が与えられました。私たちは那覇商業高等学校の二名の人の案内で買い物へと出かけました。研修旅行で来たために時間が少なかつたので、国際通りへ行きましたが、一つのショッピングセンターでしか買物ができませんでした。しかし店の中は、おみやげ品を重点的に配置してあり、大変便利でした。

船の中で那覇商業高校の人達に、「庶民的な感じの裏通りへ行ってみてはと誘われましたが、残念ながら時間の関係で行けませんでしたが、行くことができたならば、もっと沖縄の生活や文化がわかったのではないかと思います。私達は両手にたくさん品の品物をもってホテルから那覇空港へそこで沖縄ロー

タリークラブの方々にお礼とお別れを述べ、沖縄インターアクト達の見送りをえて日本航空九〇二便へと乗りついでいきました。初めて乗る飛行機に不安と嬉しさがいっぱいでした。そしてタラップを上がる時こんなすばらしい沖縄の地に別れをつけなくてはならないのがとても残念でなりません。飛び立



沖縄栃木の塔に詣でた本校生徒たち

った飛行機から見た風景のすばらしさ。特に海、島、初めて見る雲海、飛行機が雲海の中にはいった時、とても言い現わせない程美しい真白な世界が眼下にみおろせました。雲の上の夢ごちの気分も東京に近づき海のよこれが目立ち始めたと同時に、じよじよいうすれ現実にひきもどされてしまったのです。

こうして二時間半の飛行中を最後として、沖縄研修旅行も終りに近づきました。このたびの旅の体験をとおして私たちは「深い友情」と「平和の大切さ」といったかけがえない大切なものを学びとったと同時に、人間的に大きく成長できたよう気がいたします。長い四泊五日の旅は、私たちにあって高校生活の貴重な体験であり、また最後のよき思い出となりました。



集

# 学園ニュース・トピック

## 評価された学校祭

一日がかりで  
参観した人も

待望の学校祭、ことしのテーマは「ふれあい」。創立七十四周年を記念しての催し。十一月九日(土)十日(日)の両日にわたり、観客約七千余名という盛況ぶり。一時は身動きもできない程、とくにお化け屋敷などは行列して順番を待つ人が群れているというすさまじい人気だった。

▽第一会場は、手芸、洋裁と和裁と服飾デザイン、和裁、ギャラリー(書道、美術、写真その他の展示)、調理実演と即売、食品研究造花即売、和文タイプと珠算、チャリテイバザー、ふれあいの広場、放送と写真、理科、ML実演など。

▽第三会場は、インターアクト、社会研究、人形劇とギターとファッションショー、ふるさとの遊び今昔と新聞、緑日、お化け屋敷、「地獄の一丁目」、商業科、商業実践室の公開、大食堂など。

▽第四会場はアトラクションとし、演劇、弁論、ブラスバンド、コーラス、応援、空手道、レスリング、英会話(英語劇「ジャックと笑わぬ女王」など。

去年を上回る出し物で、一日中楽しく遊ばせてもらいました、と閉場時間すれすれ、

## 最優秀賞に 秋山さんが

### 県ユネスコ弁論大会

県教委主催、下野新聞社など後援の第二十一回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール県大会は十一月二日午後一時半から県立図書館ホールに男女六高校生が参加して行なつた。

高校生の主張を通じて国際連合憲章、ユネスコ憲章および世界人権宣言の精神、基本的人権の尊重に立脚した国際理解・国際協力の必要性を強調するコンクールだけに、各出場者は同論旨内容を盛り込んで熱弁を振ったが審査の結果、本校三年秋山恵美子さんが最優秀賞に、優秀賞に二年須藤淳子さんが選ばれた。秋山さんは一月東京で開催された全国大会に出場した。

「英語を国際語に高めよう」

最優秀賞 宇短大附属高三年 秋山恵美子  
 「世界の求めるものは一つ」  
 優秀賞 同一年 須藤 淳子

### 評議会の活発な運営について等

#### 生徒会総会終る

昭和四十九年度生徒会総会は、六月十九日(水)一時半より体育館において、全校生徒参加のもとに行なわれた。  
 四十八年度行事および決算報告、四十九年度行事計画および予算案をそれぞれ審議決定ののち議事に入り、生徒会の在り方について、①評議会の場をもっとよく生かすには？  
 ②専門委員会を活発にするにはどうしたらよいか、との二議案につき、活発な意見の発表、討議が行なわれた。

決まった主な点は、①評議会で、活発な意見が出るようにするため、議題が決まったから遅くとも一週間前に全校生にアナウンスして、考えて出してもらおう②投票箱を設けて、意見を出してもらおう③傍聴者を多くしよう等、専門委員会については、①生徒の自主的な発議が行なわれた。

・川口晴恵。時をかける少女・水沼ひろ子。車輪の下・木野内佳代子。常識の改革・新開明子。友情・吉原節夫。罪と罰・間首里子。誰かが触った・上野博子。若きウェルテンの悩み・田野君子。  
 (三年)人間は秋に生まれた・伊沢久子。愛と死・石原由子。二十四の瞳・桑川礼子。恩讐のかたに・上野佳子。羅生門・岡美代子。羅生門・室井光子。人間失格・芳賀美地子。二十歳の原点・荒川良枝。変身・小野進。斜陽・五月女啓子。禁じられた遊び・平山恵子。人間失格・渡辺真理子。美しい女・大森郁子。ビルマの竖琴・松島悦子。人間失格・巻島文子。

### 栄冠一年十三組に

#### 校内合唱コンクール

第十一回校内合唱コンクール決勝大会は十一月八日午前体育館において開催、予選を勝ち抜いてきた十一グループが熱演した。終わって鈴木晶子先生の行き届いた講評があり、閉幕した。優秀賞は次のとおり。

議をもっとさかんにすること②クラスの意見をまとめ、委員会で発表、討議することにしては等の意見が出された。各委員長がそれぞれ、今までの問題点や、今後の方針等について述べ、質疑応答等があった三時半閉会。

### 名作への感動込めて

#### 校内読書感想

#### 文入賞者決る

昭和四十九年度校内読書感想文コンクールの入賞者は、全校生二五〇〇余名の応募者の中から、内容・表現・分量等の面から慎重な審査の結果、次のとおり決定した。なお、審査は各学年別に行ない、学年毎に上位三位までを入賞とし、賞状と賞品を贈り、それ以下の若干名を佳作として、賞品を贈って表彰した。

- ▽一年  
 一位 「賞しき人々」 16組 根本 文枝  
 二位 「人間失格」 11組 中里 敦子  
 三位 「車輪の下」 10組 渡辺 明美  
 二位 「アンネの日記」 11組 福島 朱実  
 一位 「ひめゆりの塔」 15組 宇塚美枝子

- 三位 「惜しみなく愛は奪う」  
 6組 菊池 倫子  
 三位 「小さき者へ」 7組 菊地 悦子  
 三位 「変身」 12組 大金 恭子  
 二位 「風立ちぬ」 11組 新嘉喜ちさ子  
 三位 「変身」 15組 吉沢 敦子

▽佳作入賞者  
 (二年)新平家物語・福島美代子。アンクルトムの小屋・酒井優子。友情・和田由美子。愛と死・川田幸子。車輪の下・町田多美江。死の艦隊・網河富士子。アンネの日記・滝沢公子。友情・佐野和子。小さき者へ・橋本富子。鼻・長谷川茂。かもめのジョナサン・竹熊典子。アンネの日記・岸美智子。生と死の記録・椎名香代子。戦争と人間・亀田幸子。青春の蹉跎・山本典枝。異邦人・神山美咲子。友情・君島美喜恵。車輪の下・前田康子。小さき者へ・新井章子。  
 (二年)ローラ叫んでごらん・鈴木澄江。春の鳥・小林文子。友情・戸井田洋子。山月記・久米田真理子。氷点・宇賀神光子。あしながおじさん・佐藤京子。十七歳の死・安達瑠子。ビルマの竖琴・平井啓子。月と六ペンス・安田玲子。青春の蹉跎・蕪木敏子。赤蛙

### ▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽ 二年生大いに奮う

#### 校内弁論大会決勝

第九回校内弁論大会予選は十月三十、三十一日および十一月一日午後、二年三十名、二年二十五名、三年十七名の各クラス代表者によって行なわれた。

その結果各学年五名宛十五名の優秀弁士によつて十一月八日体育館において決勝戦が行なわれ、次のとおり優勝者が決つた。終わって波多野先生のきびしい講評があり、斎藤教頭からそれぞれ賞品が授与された。

- 一位 「新聞記事を読んで」 二の三 中村 悦子  
 二位 「ことばの中から」 三の七 谷口 征美  
 三位 「生きてゆくためには」 二の二 戸井田洋子

### 大東文化大学長賞を獲得

#### 新嘉喜さんの作

#### 文が優秀賞に

大東文化大学主催、文部省・教育報道社後援の第十二回全国高校生論文募集に応募した本校三年新嘉喜ちさ子さんは、みごと優秀賞を獲得、学長杯受賞の栄誉にかがやいた。なお参加作品は三百五十一点にのぼった。

「わが心の履歴書」  
 優秀(学長賞・賞状・カップ)  
 三年 新嘉喜ちさ子

### 家政科の運針競技会

昭和四十九年度家政科主催の校内運針競技

大会の入賞者はつぎのとおり。

- ▽一年
  - 一位・佐野和子 二位・高津戸和子 恩田和江
  - 三位・町田多美江、黒川多喜子、大島道子
- ▽二年
  - 一位・田代和子 二位・枝信子、中田久美子
  - 三位・齋藤房子、大塚泰子、北本祐子
- ▽三年
  - 一位・阿久津洋子 二位・田口恵美子、細内孝子
  - 三位・関口和子、小林祐子、阿久津君江 (以上一学期実施分)

- 一位・滝沢公子 二位・恩田和江、高瀬和子
- 三位・佐巻光枝、入江佳代子、大島道子
- ▽二年
  - 一位・中田久美子 二位・藤田波子、北本祐子
  - 三位・齋藤よし子、福田あけみ、大塚泰子
- ▽三年
  - 一位・齋藤由美子 二位・大島幸子、田口恵美子
  - 三位・加賀淳子、直井信子、阿久津洋子 (以上二学期実施分)

▽一年

- 副会長 三七二票 安納 俊夫 一の九
  - その他の役員は次のとおり。
  - 議長団 二の十五 熊田 啓子
  - 〃 二の五 竹口三枝子
  - 〃 一の十 伊東 雅子
  - 〃 一の三 大山 悦子
  - 会計 一の十 森田 資子
  - 〃 一の三 戸塚 美雪
  - 庶務 二の十一 福島 朱美
  - 〃 一の十三 石原 良子
- なお、会長および副会長が男子ばかりで占められたのは、本校開校以来のこと。  
立候補した皆さんは次のとおり。

▽副会長候補

押久保浩子、高島伸子、大山悦子、木下君江、佐藤さち子、安納俊夫、伊京雅子、山崎智恵子、石原良子、戸塚美雪、宇田紀夫。

▽会長候補

森田資子、竹口三枝子、福田昌子、岡本弥生、神永晴美、戸田輝夫、松田和也、福島朱美、薄井キクエ、熊田恵子。(小野進記)

楽しかった新年からた大会

国語科古典の授業で習得した知識を生かし

## 会長に松田和也が当選 自主性ゆたかな活躍に期待

昭和五十年年度生徒会役員改選の催しは十二月十六日(月)午後一時より体育館で行なわれ、各会長、ならびに副会長に立候補した生徒たちは、応援弁士の推せん演説ののち、それぞれ正々堂々と所見を述べた。

終わって投票に入り、即日開票の結果次の候補者が高票当選、学校長の承認を得て新会長および副会長に決まった。

- 会長 一、一八四票 松田 和也 二の十
- 副会長 三八七票 戸田 輝夫 二の九

て、競技を楽しむとともに、日本の伝統の世界に触れさせようとお正月の十一日(土)午後一時三十分から、家政科特別教室で新年かるた大会を開催した。

まず三年生全クラスから五名宛選抜された生徒たちが六グループを編成、国語科の先生方の朗々たる朗詠のもと予選から決勝戦へ、熱戦が展開され、上位五名に各賞品(かるた一組)がわくられた。

入賞者つぎのとおり。

- 優勝 三の十一 辻 春代
- 準優勝 三の五 大森 照子
- 第三位 三の十 戸松 輝美
- 第四位 三の二 岩瀬 典子
- 〃 三の七 中館久美子

しての、大規模な演劇発表会である。今年は東京の劇団より専門の演出家を講師として迎えて合評会を行なうなど、これからの演劇活動にとっても意義深いものとなった。

本校演劇部としては初めての不条理劇「別役実作『黄色い日曜日』」を上演し、優良賞を授与することができた。これは難解な作品であり演出の刑部清美君(調理科三年)を始め、演劇部員一同「上演を辞退するか、脚本を変更したほうがよいのではないか」といった迷いも生じた。しかし、持ち前のファイトとチームワークのよさでその危機を脱し、今回の授賞に輝いたわけである。演劇部のよりいっそうの活躍と、来年度こそは念願の中央祭進出がはたせることを期待したい。

### 熱戦ノ校内球技大会

クク クククククククク  
第十一回校内球技大会は、七月七日から十二日まで、バレー、バスケット、ソフトボールおよび卓球の四部門にわたり実施した。全校生徒がおのおの得意種目に出陣、華やかな応援合戦のなかに、その力を競い合った。

### 書道の部で金賞を

本校書道部は川俣三千木先生の指導のもとに地道な活躍をつけているが、本年も下野教育書道展、宇河地区芸術祭、明るい正しい

### 演劇部が優良賞を

宇河地区芸術祭  
十月十二、十三日の二日間、宇河地区芸術祭演劇部門の発表会が、栃木会館小ホールにて行なわれた。これは小学校の児童劇から高校演劇部、社会人のアマチュア劇団まで参加

選挙啓発書道展等に出品、つぎのような成果をおさめた。

◇下野教育書道展

金賞・大島待子、銀賞・伊沢美千代、木下寿満子、入選・堀江映子、小倉加代子、中館久美子、揚石房子、鈴木祥子、坂本淳子、安西千恵子、倉井博子、赤沢やよい、津吹幸子、篠原友子、手塚みち子。

◇宇都宮・河内地区芸術祭

金賞・大島待子、銀賞・木下寿満子、銅賞・伊沢美千代。

◇明るく正しい選挙啓発書道展

一位・横塚秀子、二位・堀江映子、倉井博子、三位・揚石房子、大島待子、増淵久美、佳作・鈴木祥子、伊沢美千代、中館久美子、小倉加代子、枝川幸江、安西千恵、吉沢圭子、木下寿満子、赤沢やよい、田村京子。

優勝は二年生

放送コンテスト終る

正しい言葉、アクセントで話す態度を養い相手に話し話を正確に伝えることを考える目

的のもと、映画放送部主催の放送コンテストは一月十四日(予選)同十七、十八両日において実施、一月二十日テープにより慎重審査の結果、各部門における入賞者を次のとおり決定した。

放送部門(アナウンス)

優勝・三の十三、高田恵子。準優勝・三の四、高橋由枝。三位・一の一、長谷川和子。

朗読部門

優勝・三の七、谷口征美。準優勝・三の十三、山田富子。三位・二の八、大貫秀子。

全商英語検定合格者

昭和四十八年度全商英語検定合格者はつぎのとおり。

▽二級の部

成瀬みどり、神戸和子、大金恭子、新本智浪(以上三年) 舟川清美(二年)

▽三級の部

斎藤静江、長岡喜世子、鈴木康子、砂岡昌枝、出口伊三子、中西恵、赤羽弘子、小山久美子、菊池厚子、熊倉文代、谷村明子、反保淳子、広島ひとみ、荒井千代子(以上三年) 貝見清

△四月二十七日

春季高校庭球大会

個人優勝 吉沢博子・荒井克枝組

△五月五日

関東大会県予選

団体 初優勝 関東大会出場(県代表)

個人 三位 吉沢博子・荒井克枝組

関東大会出場 四チーム

△六月十五日

全日本高校軟式庭球大会県予選

団体 三位

個人 二位 吉沢博子・荒井克枝組

全日本インターハイ出場(六十四本入り)

△七月二十七日

中部地区大会

個人 優勝 吉沢博子・荒井克枝組

三位 川田清子・大橋朱実組

△八月十三日

国民体育大会県予選

個人 優勝 吉沢博子・荒井克枝組

△九月七、八日

国民体育大会関東地区予選会

△十一月三日

近県新人大会

個人 三位 川田清子・大橋朱実組

△十一月十六日

県新人大会及び関東インドア予選

個人 三位 川田清子・大橋朱実組

関東インドア出場

△十一月二十三日

中部大会

個人 三位 川田清子・大橋朱実組

団体 三位

△一月六日

関東インドア栃木県代表として出場

知恵遅れの子供達と共に

◇渡辺陽子さんの手記

三年一組渡辺陽子さんは、知恵遅れの子供たちの施設訪問を始めて二年六か月、「ちっぽけな、私の青春」という長編の手記を寄せてくれたので、その一部を紹介します。このような自発的な個人の善意の活動をわたし達は見逃すことはできないでありましょう。

久しぶりの学園に足をふみ入ると、いつも少しも変わらない子供たちが、窓から顔を出して、手をふっていました。「子供達は学

子、揚石ユリ子、島村幸子、大山久江、中沢登美子、亀田幸子、大町直子、川又智子、木村栄子、菊地成子、高木寛子(以上二年) 小泉洋子、奥山さち子、宇賀神光子、高木京子、須藤淳子、渡田朋子、多賀谷和子、小貫悦代、伊藤可南(以上二年)

▽四級の部

押久保浩子、渡辺典子、印南早苗、奥山友子、小林優子、館野京子、外山富佐江、中里敦子、泉田光子、橋立敦子、山田玲子、山形公子、飯塚詩子、田辺昌江、毛塚加代子、梅沢裕子、松丸智恵子、橋本京子、安西正子、山中孝子、伊佐京子(以上一年) 石川房子、中島和男、中島重幸、津川剛、戸田輝夫、駒林高夫、坂場仲兼、中山政則、桜井美津江(以上二年)

輝かしい庭球部の戦跡

春の高校庭球大会には吉沢・荒井組が個人優勝、次いで県予選に初優勝をとげ関東大会に出場するなど、順調にすべり出し、庭球部は、去る一月十六日関東インドア県代表として出場するまで、年間をとおして次のように輝かしい戦果をおさめた。

園から出た生活は出来ません。だからお姉さんのようなボランティアの人達に、外からの新しい空気を取り入れてほしいんです。そう言って、私の手を取った保母さんの手はがさがさでした。「洗たく物はありますか」と聞くと、「今日は、マクラカバをつけてくれますか、たくさんあるのよ」と言われ、またいつものように積まれた、マクヤカバや布団カバーがありました。「任せて下さい、私、家政科ですから」と言ったものの、やはり私にとってかなりきつい仕事でした。しかしその仕事を、保母さんは子供を見ながら、毎日の生活の中でなしていているのです。ただ見ているだけで「大変だな」と思う気持ちと仕事をさせてもらいながら感じる気持とは、やはりそこには、何か違った感情が、私の心の中に出てくるのです。

続けていてよかったです。私は今ほんとうに心の底から言うことができます。スポーツやレジャーを楽しむことも、一つの青春かもしれません。ただ私にとっては、これ以上の青春はありません。

障害者差別問題とか、知恵遅れの子に愛の手を、とか街頭で叫んでいる人の中には、実際に障害者に接していない人もあるのです。

言葉だけで叫ぶ前に、実際に接してほしい、そして心を知ってほしいのです。この仕事に青春をかけている保母さんや、また家族の人たちなど仲間になり、一つになつて行くこと、そしてほんとうに彼等が必要としているものを知ること、問題はまずそこからです。

(略)

### 珠算関係検定の合格者

#### 日本商工会議所主催

#### 珠算能力検定合格者

二級合格 三の十三、山水順子、一の二四 渡辺洋子  
三級合格 一の十五 室井とよ子、君島美恵、二の十一 斎藤美智子、二の十四 小林文子、平野恭子、二の十五 大橋邦江、野口由江、三の十三 大島洋子、三の十四 大貫とも子、懸倉春美、合谷木静子、松本静江、宮坂淳子  
四級合格 一の十五 戸塚美雪、菊地成子  
珠算実務検定合格者  
三級合格 一の十四 町島静子、橋本佐知子  
校内珠算検定合格者  
二級合格 一の十五 藤本光枝

三級合格 一の十四 藤田孝子、一の十五 神山恵美子、鈴木裕子、須藤雅子、野沢澄子、室井とよ子、二の六 鮎沢恵子、二の十四 小林文子、坂本ミチ子、正野恭子、二の十五 小野仁子、加藤広子、柴田まり子、原広子、三の十三 大島洋子、叶賀初江、三の十四 合谷木静子  
四級合格 一の七 阿久津貴子、一の十五 阿部恵子、菊地成子、鈴木智子、仁平千枝子、三の十一 伊沢美千代、本多啓子、二の四 栗原律子、坂本まき子、二の七 蕪木敏子  
五級合格 一の十四 上野明子、大中啓子、大沼洋子、大野洋子、斎藤和枝、田中玲子、右井三枝子、一の十五 荒水規子、稲見久子、一の六 福田幸子、大出好枝、水田智子、二の四 大塚泰子、二の六 北本祐子、二の二 大塚弘子、三の三 佐藤礼子  
六級合格 一の十四 伊佐京子、高橋朱美、山中孝子(総満)、一の十五 江連二枝、大島妙子(総満)、榎澤美子、笹沼秀子、高塩せつ子、永岡千恵美、野口幸子、福田恵子(総満)、一の八 桜井照子、山崎美代子、一の六 富貴塚順子、野沢恵子、大柿明美、川津秀子、星野スミ、一の八 坪子ひろ子、二の十二 碓井純子、内田君江(総満)、二の五 佐藤京

子、竹口三枝子、長谷川和子、二の六 安達瑞子、平井啓子、藤田美智子、二の三 矢古宇せつ子、一の十二 小島恵子

### 「若鮎」第一号を発刊

本校新聞部では、かねて校内ニュース「象歩」などを発行してきたが、ようやく九月二日付活版印刷による新聞「若鮎」第一号を創刊した。

校長須賀淳先生の「発刊に寄せて」生徒会長小野進君の「生徒総会で思ったこと」根本英孝先生の「柘榴世界を渡る」根本秀勝先生の視点」等の特別寄稿をはじめ生徒作品、校内ニュースなどなかなかの盛り沢山。なお、普通科有志により作文、感想、詩等の作品集「邂逅」なども発刊された。

### 文芸部が那須修道院トラピストへ

文芸部は夏休みを利用し、秋の学校祭取材をも兼ね、那須修道院トラピスト訪問を計画、

### 卒業生を送る会

恒例の「卒業生を送る会」は三月一日(土)生徒会主催のもとに、左のプログラムにより盛大に催うされた。卒業式(六日)を目前にした催うだけに感激もひとしお。もう一段の盛りあがりを見せた。

- 1 会長あいさつ(はなむけのことば)  
二年十組 松田 和也
- 2 前会長あいさつ(謝辞)  
三年九組 小野 進
- 3 花束贈呈  
二年九組 戸田 輝夫
- 4 記念品(卒業証書筒八〇〇本)の贈呈  
5 余興 フォーク・グループの演奏  
(バス=男二名・ロー=女四名)

### 盆景「二見浦」を出品 星が丘中文化祭に協力

星が丘中学校では例年文化祭開催にあたり出身高校生に作品の出品を依頼しているが、本年度は調理科三年生が、さん新なアイデアで後輩をアツと言わせようと、盆景「二見浦」を野菜類だけを材料として創作、出品しヤン

八月八日(木)顧問塚武先生引卒のもとに実施した。

黒磯駅から白河行バスにて夕狩下車、山道を徒歩三十分位と聞いていたが、途中秋草やサンコウチヨウの声を鑑賞するなど、時間をかけて約一時間、やっと到着。修道尼の方から院の沿革、院内の生活、信仰の道など細々とお話をうけ、初めて触れる世界なので驚きと感動に胸をときめかせ、夕刻帰宅した。

二年生のまとめたルポルタージュは学校祭に展示、好評を博した。当日の参加者は次のとおり。三年=水島久美子、古川裕子、諏訪なか子、大都留和恵。二年=大貫秀子、高田加代子の皆さん。

### 滑る滑る、リズムミカルに

#### 日光でスケート教室開催

昭和四十九年度スケート教室は、恒例により、一月十三日(月)午前八時四十分より午後三時まで、日光市所野町「日光スケートセンター」において開催された。

本年度の参加者は二、四三五名、バス四十七台で第一、二、三班に分かれ、担任の先生



リズムが狂っちゃったの、助けて!

方の指導の下、氷盤を流れるように滑走、心ゆくまで明るい冬のひとときを楽しんだ。

ことしは欠席者も少く、松沼先生の総指揮下に生徒たちは整然と行動し、いつまでも氷上遊戯の感触をあたためているようだった。

ヤのかつさいを博した。  
その他今年度は、和洋裁、手芸、和英文タイプ、作文など多数が出品された。出品者は、野口万里子、長岡嘉世子、吉野桂子、福田祐子、佐藤さち子、園部光余、福田敬子、阿久津敬子、羽石治江、久保早苗、反保敦子、上野博子、安納正人、三村優、黒崎敦史等の皆さん。

### 期待される機動力

#### 家政科後援会が発足

かねて釜辺金次郎、岩下孝宏氏らを中心に寄りより話し合いの進められていた家政科後援会設立の機運が熟して、八月二十五日父兄有志による集まりが持たれ、十五人の出身者を発起人として、家政科後援会（仮称）設立準備会が発足、九月十四日（土）本校講堂において設立総会が開催されるに至った。

後援会発足後の経過報告に次いで、会則の協議決定が行われ、役員選出、学校祭への協力等の議案を審議決定した。

これによって本校の本命とする家政科の内容が益々充実し、名実ともに全国のトップク

ラスを誇る機動力を発揮することと期待されている。

### ソフト部惜敗

#### 全日本高校女子大会に出場して

昭和四十九年度高校総体第二十六回全日本高校女子ソフトボール大会は、去る八月一日より五日まで北九州市小倉球場を中心に開催されたが、本校ソフトボール部は堂々栃木県代表に選出され本大会に出場した。以下は部員のレポート。

#### 惜敗ノ一点に泣く

七月二十九日宇都宮を出発、北九州市門司国民宿舎メカリス山荘に宿を取る。九州の地、むし暑さが一段と増す。宿舎に入るなり全館冷房、外の暑さを忘れさせてくれる。メカリス山荘より関門海橋が眺められ、海の輝きも一段と映え、私達の心に忍び込んでくる。このような旅の味わいをよそに、翌日よりの練習に備え、細部にわたるミーティング、全員心なしか緊張する。

三十日より港中学校グラウンドを借用し、

猛暑と真剣な練習との戦いが始まる。時折り潮風が練習の疲労を慰めてくれるかのように吹きぬける。終日規則正しいスケジュールでコンデションも整う。八月一日真新しいユニホームに身を固め開会式に参列、雨上がりの小倉球場に灯がともり、互いに健闘を誓い合う。

試合は八月二日第三試合三重県代表伊勢高校と対戦。練習に練習を重ね、全ては試合に望むだけとなる。二日、試合前夕立ちがあり、コンディションが心配される。いよいよ試合開始。がんばり抜いたが、もう一歩というところで点が取れない。先取点を許し、途中主力選手の負傷等もあり、苦しい試合となる。終始押し気味に試合を進めたが遂に得点に至らず、一対〇のまま惜しくも敗戦。皆さま方のご期待に添い得ず、まことに残念でなりません。しかしこの教訓を生かし益々努力精進。捲土重来の意気に燃えてがんばる覚悟です。ご支援有難うございました。

#### 旺文社全国コンクールに佳作

高校の部作品鑑賞の部に応募した三年八組小林孝子さんが「清岡青洲の妻を読んで」で佳作に入選した。

### 有意義だったPTA A 第五回研修会

第五回PTA研修会は、九月二十八、二十九日の両日にわたり、塩原温泉「深山荘」において行なった。参加者は四十名。

二十八日午後一時半学校発、三時塩原着、直ちに研修に入った。まず高山会長、校長先生のあいさつに次いで、太田先生から本会開催の経過についての報告があり、手塚先生の司会で、夏期休暇中に行なった「PTA支部総会の反省」を議題に、出席支部長を中心に活発な意見交換、要望や質疑応答等が重なり、来年度の運営についての貴重な資料が得られた。

次に、文部省海外教育視察団のメンバーとして西欧を視察し帰朝した太田先生から、フランス、西ドイツ、イタリア、スイス等の見聞を通して、日本との比較文化の問題など、よく見てよく考えた含蓄に富んだお話しに一同感銘。つづいて座談会に入り、親子関係がいま最も困っていること等当面するポイントをめぐる率直な意見の交換が行なわれた。夜の部は地元の方々も多数参加、夜の更

けるのも忘れて歓談した。

翌朝は十時出発、深山ダムから板室、乙女の滝を見学して、那須高原へ。午後四時一同元気で帰校した。当日の出席者次の通り。

▽高山源吉、篠崎キミエ、齋藤文夫、古山康夫、滝達旦、中島至一、川出弘、六川彦次、植野由一、室井伝、瀧岡真文以上本部役員  
▽吉永春夫、古川昭二、吉沢要、堀重雄、堀

### 心暖まる奉仕活動

#### 校友会が積極的リード

いにしへとちかい合い徹底して清掃を行なった。またお客さんや職員さんが、「ごころう様」大変ですね。」と声をかけられる時には、とても心がはずんだ。

#### 二、老人ホーム千寿荘の慰問

八月八日、夏休みの真盛り、校友会々員の皆さんより寄贈していただいた手拭タオル、石けん、その他の慰問品をたくさん持参し千寿荘へ。一・二・三年有志二十名で主に窓ふき、洗濯を行った。私達が高窓をふこうとすると脚立を運んできてくれた老人もいて、まだまだ若さぶりを見せていた。

#### 三、歳末助け合い運動

### 老人ホームの窓

#### ふきや洗濯を

#### 駅や広場も清掃 鹿沼支部

一、国鉄鹿沼駅や駅前広場の清掃  
先輩の業績を受けついで今年で八年目。各班十名余りで十班編成し、一班ずつ毎週土曜日、放課後下校時を利用して、午後三時から約一時間、待合室・ホーム・駅前広場を中心に清掃を実施。一・二・三年生有志が、互いに協力して、すみずみまできれ